

安楽寺だより

第 22 号

東別院奉仕研修のご案内

どなたでも参加できます



東別院本堂の清掃奉仕

来年（平成二十八年）東別院で親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が勤まります。（前号既報）今、法要に向けて対面所の修復など名古屋教区の寺院関係者が、取り組みの準備をしております。具体的な法要内容などが決まりましたら、ご案内させていただきますので、宜しくお願ひ申し上げます。

紙面内容

- 2面 二十二組同朋大会開催される
- 3面 お待ち受け大会に参加して
- 4面 仏教豆知識（日本仏教史⑤）

毎年、東別院を会場に奉仕研修が開催されています。奉仕研修とは、お集まりの皆様とともに、仏さまのお話しを聞き、互いにお話をしたり、また清掃をして、別院で一日過ごす催しです。

先輩方から私に相続されてきた「寺」「親鸞聖人」。その相続は、親から子への言葉やその姿を通して、また集まられた方々とともに教えを聞くことを通して、長い年月続いてまいりました。

「宗教と疎遠になりつつある現代社会にどのような向き合っていくのか」「仏教はわたしの生活とどこで結びつくのか」一緒に考える場になればと思っています。

五月二十七日が今年度の第一回の開催日です。（下記の年間予定をご参照下さい。）日頃の自分の生き方を見つめる機会としてご参加のお申し込みをお待ち申し上げます。

第 1 回	5 月 27 日(水)
第 2 回	5 月 28 日(木)
第 3 回	6 月 17 日(水)
第 4 回	6 月 24 日(水)
第 5 回	9 月 28 日(月)
第 6 回	10 月 13 日(火)
第 7 回	10 月 27 日(火)
第 8 回	10 月 28 日(水)



名古屋教務所

編集・発行 安楽寺住職 吉田 和良
名古屋市瑞穂区井戸田町一の八〇
電話 〇五二（八四一）二六〇六

◆ 日程 午前九時より受付（別院東門入り 名古屋教務所玄関にて）

◆ 参加費 二千元（昼食代を含みます）

◆ 持ち物 念珠、勤行本(赤本)、筆記具、清掃用衣服、同朋手帳(お持ちの方のみ)、雑巾、軍手

◆ お申し込みは 安楽寺または東別院教化事業部

（〇五二）三三一・九五七八まで
ご連絡下さい

☆ 実施日の十日前までにお申し込み下さい

二十二組同朋大会 「我も人もともに救われる世界」

三月二十二日、二十二組の同朋大会が開催されました。大会には二十二組の各寺院・ご門徒の皆様百六十名のご参加がありました。高木浩司二十二組門徒会会長、木全峰昭二十二組組長の挨拶の後、尾畑文正師（同朋大学特任教授）にご講話をしていただきました。

温故知真「親鸞聖人の手紙から」と題し、現代に生きる私たちへの聖人からのお手紙を通して、真実と向き合う意義をお話しされました。



「世のなか安穩なれ
仏法ひろまれ」

「昨年十一月二人の俳優が逝去されました。一人は高倉健さん。「網走番外地」など任侠映画で一世を風靡され、「八甲田山」「南極物語」など体力の限界に挑戦され、寡黙で一途な演技にこころを打たれました。高倉さんは、「人ははつきりした願いが起こつたら何事も忍んでいける、仏説無量寿経にある『我行精進、忍終不悔』（我往く道は精進にして、忍びて終わり悔いなし）」とのお聖教を座右の言葉としておりました。」

「また、トラック野郎などで名をはせた菅原文太さんは、病床の身を押しして沖縄県知事選挙の翁長氏の応援演説のなかで、「政治の役割は国民を飢えさせない、安全な食べ物を食べさせる、そしてこれが一番大事です。絶対戦争をしない」と訴えました。お釈迦さまの『兵戎無用』とのお言葉が今こそ必要な時代を迎えています。」

「阿弥陀仏のご本願は『地獄、餓鬼、畜生のない世界に生まれさせたい』と申されます。衆生のいのちを危うくする、人間として生きていない考えは、本願に反しています。仏法を聞いていく中で、現実を見据

え、我も人もともに救われる世界がお釈迦さまのお言葉の中から見出されます。

『御報恩のために御念仏こころにいらして申して、世のなか安穩なれ、仏法ひろまれとおぼしめすべしとぞ、おぼえ候う』（親鸞聖人のお手紙）

尾畑師は、この聖人の教えが、今の社会を隅々まで照らし、真実を知る機縁となることを私たちに力を込めて語られました。



3月19日、永代供養墓で彼岸法要をお勤めしました
雨の中でしたが大勢の皆様にお参りいただきました

大会に参加してー若院

三月二十八日、東別院、西別院とその周辺地域において「お待ち受け大会」が開催されました。「お待ち受け大会」とは、来年の春に東別院で厳修される親鸞聖人七五〇回御遠忌法要に向けて親鸞聖人の教えをあらためて確認するとともに、御遠忌法要を一人でも多くの皆様を知っていただき、法要の機運を盛り上げるために開かれた大会です。

当日は天気も良く桜の時期とも重なり、東別院周辺に足をお運びいただいた方は、一万人を超えたと言われております。各出店プー

東別院お待ち受け大会開催



東別院本堂前



賑わう別院境内

スも賑わっており、普段あまりお寺に縁の無い方も大勢足を運んで下さっていました。その他にも日中法要・講演会、子供パレード、スタンプリーなど老若男女問わず楽しめた一日であったと思います。

私は奉仕研修にお越しいただいた方々と共に、日中法要と藤谷純子氏(大分県・勝福寺坊守)による講演を拝聴させていただきました。「お念仏があればこそ、今、親鸞聖人に会う」という講題で、なかなか難しい内容でしたが、講演を聞いて私自身いかに自分自身の尊い命を身勝手に粗末に扱っていたかを感じさせられました。来年の御遠忌を迎えるにあたってテーマである「ともに生きる、いのちのつながり」を今一度考えていきたいと思えます。

毎月二十八日に東別院で開かれている手作り朝市も大変大勢の方にお越しいただいています。ぜひ皆様もお時間がありませんでしたら足をお運び頂けたら幸いです。

平等院とあじさい寺

今年六月二十五日(木)に瑞穂区仏教会主催の研修旅行を行います。

梅雨の時期になりますが、あじさい寺(三室戸寺)と平等院に参拝いたします。紫陽

花は、雨が非常に似合う花かと思えます。また平等院鳳凰堂は、昨年修復が完了し、朱塗りの建物が水辺に移るすがたはこころが休まる風景ではないでしょうか。

ご参加ご希望の皆様は、安楽寺まで、お申込み下さい。



これまで三十年以上、安楽寺の報恩講及び定例法話に講師としてご法話をしていただいた、昭和区恵林寺の荒山修先生は、体調がすぐれず、今年六月の定例よりご長男の荒山信師に変わられることになりました。

荒山修先生には、仏法を自らの生活の中で聞いていく大切さを繰り返しご教授頂きました。今後もお元気で暮らして頂き、若い人たちのご指導していかれることを祈念します。

仏教豆知識

第二十二回



日本の仏教

歴史 その⑤

十四世紀中頃、鎌倉幕府が滅亡したのち、後醍醐天皇による建武の新政が始まりました。

武士たちに好まれた禅宗も、京都本位に改められ、京都五山が成立しました。足利尊氏は室町幕府を京都に開き、禅宗の中でも臨済宗を保護しました。室町時代の初期には、南禅寺などの禅宗と旧仏教勢力の延暦寺などの天台宗は対立して、政治問題にもなりました。

三代將軍の足利義満の時代には、明の国(いまの中国)との間で貿易を開始する際には、禅僧たちが外交顧問になり、幕府と仏教は接近しました。

この動きは貴族文化や武士文化に影響を及ぼし、義満時代の鹿苑寺(金閣寺)などの北山文化や足利義政時代の慈照寺(銀閣寺)などの東山文化に融合の跡を見ることが

ができます。

この時代の曹洞宗は、主に京都以外の地方や庶民の間へ影響力を広めていきました。また日親などの日蓮宗は、京都の都市商工業者の間に教えを普及していきま

蓮如上人は、室町時代後期の応永二十二年(一四一五年)に大谷本願寺で誕生されました。康正三年(一四五七年)本願寺第八代留守職を継承され、門徒衆へのお手紙であります「御文(おふみ)」のご執筆を始められました。寛正六年(一四六五年)大谷本願寺が延暦寺の衆徒により破却されてからは、京都を離れて布教の行幸に出られることとなりました。



宗泰院山門

大谷本願寺
御旧跡

「日本の平和と安全を守る」ために現在の日

本国憲法九条の「国際紛争解決のための武力行使(戦争)は永久に放棄する」条項を逸脱した法律を、今年五月に国会に提出した安倍内閣。

▼「日本の存立が脅かされ、国民が危機にさらされる明白な危険がある」との判断があれば、

若者が海外に派遣される法律。▼また、「日本

の平和と安全に重要な影響を与える事態」になれば、世界中どこへでも派遣を可能にする等

「切れ目のない対応」をとるために、幾つかの法律を提出しました。▼「安全保障環境の変化」

との理由により、憲法・国家・自衛隊を大きく変える国策が始まろうとしています。私たちは

本当にこうした日本にしているのでしょうか。